

マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

令和 8 年 8 月 28 日

代表理事組合長 五十嵐 雅樹

昨今、マネー・ローンダリングや特殊詐欺をはじめとする金融犯罪の手口は高度化・巧妙化しており、犯罪組織の活動も一層複雑化しています。実際、JA バンクにおいても口座の不正利用や詐欺被害は JA の規模の大小や地域を問わず発生しており、新聞等での報道を見て心配に感じている組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリングおよび金融犯罪対策（以下「マネロン・金融犯罪対策」）の重要性が益々高まっています。

マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは信用事業を営む当組合の責務です。当組合は、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、組合員・利用者の方々の大切な財産をお守りするために、マネロン・金融犯罪対策を重要な経営課題として位置付け、私を含め常勤理事が先頭に立って取り組んでまいります。